

## 第2回 南砺市山村振興計画策定委員会 議事録

NO. 1

日時 : 平成27年11月30日 (月) PM 2:00 ~4:18

場所 : 南砺市役所城端庁舎 2F 202会議室

### 委員

No.	役職	分野	所属・加盟団体	氏名
1	委員	地域代表	平地区自治振興会長	南田 実
2	委員	地域代表	上平地区自治振興会長	羽場信夫
3	委員	地域代表	利賀地区自治振興会長	北田耕三
4	委員	地域代表	城端(蓑谷)地区自治振興会長	谷崎 猛
5	委員	地域代表	福光(西太美)地区自治振興会長	堀 郁夫
6	委員	地域代表	福光(太美山)地区自治振興会長	上坂甚誠
7	委員	農業	公益財団法人五箇山農業公社 職員	道端昌子
8	委員	農業	公益財団法人利賀村農業公社 事務局長	渋谷 均
9	委員	林業	富山県西部森林組合 業務部 部長	森田義昭
10	委員	公募	グリーンツーリズムとやま 事務局長	太田すみ
11	委員	公募	ゆかた一ず 代表	前田久美子(欠席)
12	委員	公募	一般社団法人moribio 代表	江尻美佐子
13	委員	行政	南砺市産業経済部 部長	原田 司

### 事務局

南砺市産業経済部 農林課	南砺市産業経済部農林課 課長	芝井 広
	南砺市産業経済部農林課 農産振興係 係長	宮下 秀明
	南砺市産業経済部農林課 農産振興係 主査	青能 剛
(株)上智	(株)上智 設計計測部設計課 技師長	木戸耕作
	(株)上智 設計計測部設計課 上級技師	長徳紀章

### 出席者

委員12名 事務局5名 傍聴者1名

### 欠席者

委員1名

- |     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご多忙のなか、お集まり頂きまして誠にありがとうございます。定刻の時間となりましたので、ただいまより「第2回南砺市山村振興計画策定委員会」を開催致します。本日は前田委員さんが欠席、太田委員さんは少し遅くなるという連絡を頂いております。最初に上坂委員長よりご挨拶よろしくお願ひ致します。</li> </ul>  |
| 委員長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・皆様方には、本当に忙しいなか、11月下旬で何かとお忙しかったと存じますが、お集まり頂きありがとうございます。前回10月20日から今日11月30日まであつという間の時間かと思ひますが、私たちには山村振興計画の委員という役職を受けて、山村振興計画の協議を進めているところではございますが、皆様方委員から貴重なご意見を頂いてよりよいものにしていきたく思ひます。簡単ではありますが、私の挨拶とさせていただきます。</li> </ul> |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうもありがとうございます。今から協議事項に入る訳ですが、本日の委員会には傍聴の方が1名おられますので、ご連絡させていただきます。協議につきましては上坂委員長より司会をよろしくお願ひ致します。</li> </ul>   |

委員長	・それでは、協議事項（1）第1回委員会の質疑対応について事務局より説明願いたいと思います。
事務局	（1）第1回委員会の質疑対応について説明
委員長	・どうもありがとうございました。何かご意見がありますでしょうか。
委員長	・ご意見がある場合は、その都度いつでもということ、次に進めさせていただきます。
事務局	（2）計画の内容についての第4章と第5章について説明頂けますか。
委員長	（2）計画の内容についての説明
委員	・どれも大事である訳ですが、それではちょっと分かりにくいというのがございますので、補完的な説明があればよろしく願います。
委員	・施策の内容についての（3）～（5）につきまして、特に計画策定で重要であると説明されたと思いますが、例えば（1）は公共交通の関係ですから、これは別に専門的に対応している部署がありますし、（2）についても専門の部署があり、山村振興計画としてフリーハンドで書けるところは、（3）～（5）なのかなと思います。
委員	（6）文教施策は教育委員会でしょうし、（7）社会、生活環境施策については福祉、（9）集落整備施策については農政課になり、（11）交流施策については交流観光まちづくり課、（12）～（15）などは農林課となりますので、中心的に考えていただくのが、（3）～（5）となります。
事務局	（3）～（5）について補足説明
委員	・（3）についても農道、林道、作業道はインフラ整備なので、農林課で進めていますので、ここで言う話ではないかも知れませんが、ただ、6地域限定の計画なので「遅い」「早くしてくれ」と言うのであれば、言って頂いて、通常枠に加えてプラスアルファとして考えて行かないといけないので、特にあればご意見をお聞かせ下さい。
委員長	・それでは、せっかく委員の皆様方は来てらっしゃるので、ここまでのご意見ありましたら。こだわらず、何でもいいですから。
事務局	・事務局から言うのも何ですが、（3）の中にこの前の新聞記事で出ていたと思います。野地の「ため池」で古文書がみつかったので、該当地域でもありますし、中山間地は「ため池」が多くある地域です。「ため池」を通じてソフト的なものがあるかもしれませんから、記載すれば良いと思います。
委員	・「ため池」は西太美にもありますし、新聞にも出てました。現在、市からの助成金の対象となって活動しているところで、今度また「交付金」が申請すればできるということで、通るようにがんばって頂きたいところです。
事務局	・うまく使い分けして頂いて活用すれば良いと思います。
委員	・「中山間地域」「農地水環境保全」という名目が変わって、「才川七」だけで150件の集落があります。どちらとも提出しようと思ったら、二重取りということになり、どちらかと言えば、「農地水環境保全」ということで、まとまった額が入るため、「役をしているものは、しっかり聞いて助成金を申請してこい」と総会でたたかれた経緯があります。また「ため池事業」ということで昨年4月から頂いているところで、地区の皆様も喜んでます。助成金をうまく活用して、2つでも3つでも該当すれば良いと思います。今該当しないにしても、もう少し山間地過疎の集落へは「大目にみてやってもらえれば」というのが本音です。よろしく願います。この後説明あるリストにも2つほど行いたいというのがあるので、よろしく願います。
事務局	・この後、個々の提案について出てくるとは思いますが、「中山間地域」や「農地水環境」については、これとはやや色合いが違うものですから、かぶるところは現実にあるとは思いますが、何かご相談等あれば個別に対応したいと思っています。
委員長	・他には、意見は何かありますか。後から具体的な話も出てくるとは思いますが。全

事務局	<p>体の振興計画について何かありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第5章については、どちらと言えば次の話がメインになってくるのですが、体裁を整えるというか、事務局としては、南砺市が施策で行っているものをもう少しちょっと入れたいと思っています。ちょっと漠然としすぎかなと思いますし、今の施策は中止する訳でもないので、具体性をもたせたいと思います。ここの部分はちょっと間に合わなかったようなところがございますので、そのような形をとらせてもらいます。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>振興施策とって、砺波市にもあてはまる全国共通のことだけを言ってもダメなので、南砺市の特色を生かした振興施策として南砺市の表現が入ったものにしたと思います。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>例えば(2)に出てくるような「ふれiTVⅡ」など南砺市ならではの用語が掲載されていますが、他にも多く南砺市ならではの用語を掲載していきたいと思っています。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>先ほどの「中山間地域」などの別の補助金は維持管理などに使ってもらって、できないものは別補助事業で行う。会検は各事業であるため分けてもらって、使い分けしてもらえれば良いと思います。「多面的機能支払制度」で出来ることは行って、これも農林水産省の施策で内容も変化していますが、それで対応していけば良い。今回は「山村活性化支援交付金」は3年間として短いものですから、計画的に3年間で芽生えるものはこちらで行って頂ければ良いのかなと思います。決して無理ではないので、使い分けして頂きたい。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>次の議題に移らせて頂きます。説明頂けますか。</li> </ul>
事務局	<p>調査リストについて説明</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産は平と上平で逆になっている。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>平を相倉合掌集落、上平を菅沼合掌集落に修正致します。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>菘谷1「なんなんまぶまぶ」について説明 平成21年「南砺市B級グルメ選手権」でグランプリに輝いたのが「なんなんまぶまぶ」です。販売促進していくために、PRしていきたいという趣旨です。結構年月がたっていますが、まだまだ知名度が低いことで定着できるようにPRしていきたいというものです。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>平1「ねこのくら工房」について説明 11/25に「食べる豆乳」について試食会を開催しました。五箇山の眺望を活かした喫茶営業とは、工房から緑を見たら印象が良い。喫茶は、珈琲ではなく、薬草を出したいと思っている。このため、研究等が必要なため、何かならないかということでした。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>営業者など団体がある。やる気がある人なら良いと思っているが、それは地域で限られたお金しかないので、地域の方の同意がないと、1つの事業所に持っていったいいのかということがある。「なんなんまぶまぶ」も商工会が行っていた事業です。地域でこの事業がエントリーするので良いか話あって頂きたい。大事なのは、1つの商店でも良いですが、自分自身の商売が大きくなれば良いではなくて、それに伴い地域の雇用が確保できるという大義名分がないとなかなか難しいのではないかと思いますので、皆様方は聞かれる時にその辺も頭において地域のなかで「これで進めていく」という風にして頂きたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>おっしゃる通りであり、いろいろな計画を持っているなかで一部について応援するものです。その職場に移住者などが結構働いていますし、地元の方も採用しているので地元の活性化につながっています。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>ここで一番大事なのは「だれがするのか」というプレイヤーがいないことにはダメ</li> </ul>

委員	<p>なので、個々の商売者になっても構わないと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平2「長田組」について説明</li> </ul> <p>このほかにも表札を自然木を使って作成している。木製の看板も作成している。大工さんと工夫して作成している。今はロコミだけで入ってきている状態なので、紹介できるような仕組みが良いのではないかと。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平3「東中江和紙加工組合」について</li> </ul> <p>高齢者が多く後継者が心配。「こうぞ」の皮をむく機械を技術開発できないかということ。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮をむく機械がほしいということか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮をむいても少し残るらしい。それをきれいにとる機械がないかということ。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平4「農地に係る管理システム」について</li> </ul> <p>平、上平は高齢化が進み農業の管理ができていない。耕作放棄地の管理や作付状況を把握できる管理システムを専門家と交えて開発できないかと思っている。また、この後、何が特産品になるのか模索状態。専門家の方に地域性や環境を見て頂いて提案して頂ければありがたいなと思います。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PCで耕作放棄地などが把握できるものというか。パッケージで既にないか。</li> <li>・あります。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パッケージであれば、そんなに高いものではないと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品の開発を「人任せ」というのは、ちょっとおかしいのではないかと。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人任せ」ではありません。検討しているのですが模索状態で、中山間地の環境でどのようなものがぴったり合うのか専門家ではないので分からない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業公社が専門家でないと言えば誰が専門家なのか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上平1「合掌の森プロジェクト」</li> </ul> <p>古茅を寝床にしてかぼちゃを栽培している。農業公社とタイアップしてかぼちゃコロッケを販売している。また何かできないか検討している。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「都市農村共生・対流総合対策交付金」はいつ利用していたのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度から平成27年度までの3年間です。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かぼちゃ」に限らずなにか考えて開発できないかと思えます。古茅を使って他のものは混ざらないようにして苗の管理をしながら栽培している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際には、たくさん採れて販売しているのか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「五箇山ぼべら」については農業公社が種を交配しないように作成し、毎年、プロジェクトにお売りしたり一般農家に売っている。量については年によって差はあるんです。価格は、今年はイオンに高値で販売したと聞いている。個人的な意見ですが、かぼちゃはかなりコストがかかっている。コロッケを250円で売っている。コロッケは業者を2～3つ関係しているの、経費がかかっている。そちらの対応についても考えているのではないかと思います。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロッケ250円は安い方では。旅行に行ったりしたら200～300円でも買ったりする。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五箇山コロッケが250円、飛騨牛コロッケが300円と記憶しています。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「五箇山ぼべら」はここにしかない品種なのか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はいそうです。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここにしかないという商品であれば、南砺市が販路拡大を進めている吉祥寺や銀座などの料亭や高級レストランでは、こういうものを求めている。無農薬であると文句なしで買ってくれる。売る方も付加価値を付けて行っている。おもしろいと思う。コロッケで中間マージンがとられないように工夫する。単体で話しているけど、今のような結びつきが出てくると思う。地域の各団体に広がって行けば良いと思う。合掌の森プロジェクトとはどんな団体なのか。</li> </ul>

委員	・私が会長しているんですが・・・
委員	・それならば、文句はありません。
事務局	・11ページに活動内容が掲載してあります。
委員	・「五箇山ぼべら」は条件がありまして、古茅を敷いて栽培するというものです。私たち農業公社や農家さんが行っているのは、茅をひかずに市販されているものを敷いて作っているものです。「五箇山ぼべら」としては売れないということです。
委員	・「五箇山ぼべら」の場合、古茅を敷くのはどれくらいの割合とかあるのか。商標登録をとってあるのか。地域にとってどのような形が良いのか検討して頂いて、商標登録であれば、商標登録にもお金がかかるので交付金を活用したらよい。また、種を絶対他に出してはいけない。他に出すと他の地域でマネされる。
委員	・絶対いるのは、効能です。成分表などを学術的に整理して、ここしかないというものにしないとイケない。富山市が山田地域で進めている「エゴマ」も同じ。付加価値を付けるために検証が必要なので、この交付金が合うのかもしれない。売る時の「このかぼちゃは〇〇に良い」などが必要である。
委員	・3年間で1年1地域に一千万円です。1/2ではなくて100%交付金ですので活用されたら良いと思います。
事務局	・利賀1「利賀商工会」について説明 利賀ギフトを学生が見つめて提案するものです。現在取り組んでいるものをさらに発展させたいとのこと。利賀は早くから学生との活動に取り組んでいる。
委員	・既に補助事業で行っているものなのか。
事務局	・商工課へ提案された資料をこちらの交付金が良いのではないかとというものです。
委員	・プレイヤーは誰がするのか。
事務局	・慶応大学の学生が行うものです。
委員	・学生ではなく、利賀村の誰がするのか。
事務局	・利賀村商工会が予定しています。協議会を立ち上げることになる。
委員	・学生はアイデアを出す、商品は何か。誰が中心になるのか。学生がアイデアを出して、移住してくれれば良いが。それなら全国初かもしれない。ファンドを出し合っても良い。
委員	・82万円のファンドがある。
委員	・例えば、学生に3年間は交付金を出すからその後は商売として自立できるようにすれば良いが、今の場合は、アイデアを出して帰って行くような状態。
事務局	・地元の方が関わらないというのは問題である。
委員	・地元が関わらない訳ではない。例えば結婚式の引き出物について利賀村の特産品をカードで紹介してカタログギフトにするということを行っている。彼らは商売よりも利賀村のPRのために立ち上げている。利賀出身の方の結婚式で利賀村について知ってもらう。利賀村の生産者や商品を見せるという良い話なのですが、カタログ制作者は岐阜の会社で利益は岐阜になる。学生も働いたということで利益を得る。ギフトは3,800円で買われるが、それぞれの手数料とかが払われて1,600円分で商品を提供することとなる。利賀村はスケールが小さいので顔の見える方には3,800円で買われるものに1,600円分のもを出す訳にもいかない。経済的にはメリットの少ない話になっている。どうしたらうまく行くのかこれから検討する課題である。
委員	・学生がアイデアを出しているけれども、生産者にしわ寄せが来ているようでは続かない。学生がアイデア出して行ったが、失敗することが多々ある。学生に「やってみろ」といっても「やりません」では良くない。そのようでは考え直してもらわなければならない。
委員	・82人が一万円を出したということに、着目して良いものにしなければならぬ。

委員	・岐阜の会社を使わない工夫が必要。
委員	・カタログではなく、インターネットで紹介する方法が良い。
委員	・利賀2「利賀ハロウィン村計画」について説明 緊急雇用の方が考えた(案)です。ハロウィン市場が拡大し、インターネットでかぼちゃが完売していることで着目したものです。独特のロゴや梱包デザインをする。SEO対策はインターネットで上位検索されるもので、リスティング広告はキーワード検索するとその横に広告を掲載するもので、インターネットを使って販売したい。1年間でどこまで出来るか分からないがチャレンジして、3年間行って成果をあげたい。アクセスの悪い立地を逆に活かして訪れた方が非日常を体験できるようにしたい。農業公社だけでなく、将来は農家の方にも生産できるようになればと思う。
委員	・3,000円は高値である。
委員	・農業公社ではカボチャ150円/kgなので1,000円にもなりません。
委員	・完売とあるがどれくらい売っていたのか。調査が必要。
委員	・インターネットは南砺市のものは使って頂ければ良い。SEO対策やリスティング広告などはイベントをすれば良い。例えば、期間中に何かをした人に何かをプレゼントとすると、検索画面に上位に来る。そうすると売りやすくする。
委員	・水を差すようなことを言うかも知れないが、かぼちゃはイノシシ対策が必要。
委員	・オータムゴールドを栽培できるのか。
委員	・それも含めて試験栽培する必要がある。今はまったくしていない。
委員	・味は良いのか。
委員	・まったく味は良くない。観賞用である。穴を空けると日持ちしないので、始めはシールを貼って、直前に穴を空ける必要がある。穴を誰が空けるのかという問題もあるので、これからの研究の一つです。
委員	・私も水を差すようなこと言うかも知れないが、カボチャは虫がすぐに付く。五箇山かぼちゃもそこが大変なので、その辺も研究しないといけない。播種は4月上旬にしないといけない。
委員	・ハロウィンなのでアニメとも連携したら良い。クリエイタープラザでは8社中4社決定しています。またクリエイターを18席用意してある。
事務局	利賀3「地域おこし協力隊」について説明 元タイタリア料理など20年の飲食経験した方で、キッチンカーを使って何かしたいと考えている。
委員	・SCOT利賀も関連しているのか。
委員	・している。
委員	・利賀4「グリーンツーリズムとやま」について説明 利賀だけでなく、南砺市の他でも良いから連携して民泊する提案。「とやま農山漁村インターシップ」で学生が来ている。短期、中期、長期といったプログラムがあり、後継者となるような方を育ててもらいたい。若狭では38名中21名が移住した。そのうち若狭で結婚する方も多く見られ、全体で関係する方が20世帯50名程度となっている事例もあるのでぜひ検討されたらどうか。
委員	・南砺市の創生事業に同じようなことを掲げている。初級が日帰り、中級、上級はインターシップで後継者を育てるということを検討している。グリーンツーリズムはクリエイタープラザに北海道大学観光学高等研究センターが入ります。ニューツーリズムを研究している機関で南砺市と産官学の連携協定を結んでいる。ニューツーリズムの拠点として、勉強会をしたり研究者を呼んだりする予定です。てこ入れしてもう一度行う必要がある。
委員	・太美山1「福光温泉」「五箇山塩硝」「刀利谷の生活」について説明

	<p>「ふとみぼれ」農産物直売所が今年度で終了する。福光温泉は、社会福祉協議会が温泉部分のみ今年から実施し、いつまでするか分からない状況です。小さな地域なのですべて自治振興会で行ってる。福光温泉は、宿泊施設などが使用されていない状態なので、ここを拠点にしているいろいろなことができないかと思っている。保育所跡地などの問題もあるが、太美山としてはあれもこれもできないので福光温泉1つに絞って自治振興会いきたい。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福光温泉の横には資料館がある。消防署から施設が基準に達していないということで、カギをかけているが、中にはすばらしいものがある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治振興会が進めてターゲットを絞って行っていけば良い。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄砲隊は、火薬を購入して警察の許可を受けるには、先生に来てもらわないとできない。鉄砲は南砺市に買ってもらった。火薬類取り扱い免許が必要で、先生は55団体中33団体を抑えている。勝手にしようもなら、邪魔される。先生には多額の資金があり、前回招待され見せてもらった時には旅費を全部出してもらった。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄砲隊は飾る場所がほしい。このため福光温泉を利用したい。年に1回イベントなどをしたい。一発撃つと大歓声がある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西太美1「山ぶどうの会」について説明 また山間地なので実のなるものは、クマ、イノシシ、ハクビシンなどの被害が多い。山ぶどうが管理しやすいということで休耕地も多いことから検討している。販売はイオックスアローザでも販売している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山ぶどうは収穫は春先であるが、交付金申請は6月頃からなので、先に手をかけてもらうことは考えて欲しい。効能が書かれているがこれが良い。成分を調査してもらって効果をしっかりPRすれば良い。今は健康志向なので売れると思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他と比較したらダメと言われている。チラシで良いということPRしたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西太美2「芍薬」について説明 既に芍薬の植え付けも終わっている。作放棄地を活用して行っている。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・25ページの下に事業計画が載っていますが、これらは耕作放棄地の対策として別事業がありますので、それをうまく活用すれば経費はかからなくて良いと思います。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作放棄地対策にもなり、西太美が意見集約して誰か一人が儲かるのではなく地域全体が儲かるのであれば問題はない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芍薬は出口があるのか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利賀では薬品会社が何がほしいか調査している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗っていない根の処理していないものを必要としている。しかし、全国的に芍薬を始めるところが増えてきています。収穫できるのが2年先なので、その頃どうなっているのか分からない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2～3年先でないとお金にならないのであれば、なおさらこの事業を使えば良い。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「芍薬」は南砺市でも井口、徳成、利賀などで行っている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上平では農林振興センターが「芍薬」を植えてくれと言われている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬用植物の国内調達を農林水産省と厚生労働省が協働で行う動きがあり、薬用植物の国内調達する指示があったらしい。国、県、市町村へ降りてくるまでに時差があり、ここにきて皆さん一気に植え始めたらしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地で「芍薬」を生産しているとの情報なので売る時に価格が暴落したら問題なので、生産者に伝えてください。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2につきましては、第4章、第5章を先ほどありましたように「南砺らしさ」を加えて計画としてまとめたいと思います。資料3に提案されているものにつきましては別冊として、来年度取り組む事業としてまとめていきたいと思っています。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ皆様の提案につきましてはこれからも受けたいと思います。</li> </ul>

事務局	・資料5に意見書を付けてあります。これに具体的に何か提案がありまして何を考えているのかということを含めたもので、もう1回考えて頂きたいと思います。
委員	・資料3のたたき台をもとに自治振興会長さんは、地元で話してもらって「うちの地域はこれで行く」というものを整理して、申請書は全部、市で作りますから、心配はいりません。何がしたいかがあれば、全部作ってしまいます。
委員	・申請は、1月の策定委員会までは、地域調整は終わっている。その後様式フォーマットに基づいて作成する形です。
委員長	・資料5の12月11日までというのは、延びるのか。
委員	・これは計画書に書いてほしいことです。来年度の交付金については、概ねの経費等も少しずつ詰めていってほしいと思います。
委員長	・できれば、1月の策定委員会までということか。
事務局	・第3回目は計画書はこれで最終というものを提出します。誤字脱字等の微調整と考えている。
委員	・第3回目は計画書は最終のものを提出します。交付金については、これからまとめていく形です。しかし年度内中にまとめるようなスケジュールとしてほしい。
事務局	・自治振興会長さんは全部把握しているとは限らないと思いますので、後から「話を聞かせてほしかった」ということにならないようにして、地元で十分話し合ってください。
委員	・一番困るのは、「あいっだけなぜ？」ということにならないように、地域の総意ということとしてほしい。
事務局	・年末に話し合いはあると思うので案件として話し合ってもらいたい。「リストにのっていないので無理」ということではないので、新たなネタというのも聞いてみたいので、何かあればお願いします。
委員長	・皆様方、分かっていただけでしょうか。それであれば、次、お願いします。
事務局	資料4 スケジュールについて説明
委員	・第3回策定委員会を1月8日、1月13日を事務局としては予定しています。
委員	・1月8日は都合が悪い。
事務局	・それでは1月13日(水)とさせていただきます。
事務局	・資料5につきましては、資料2の山村振興計画について何かありましたらお願い致します。紙をなくしたというのであれば、様式は構いません。
委員	・資料3の交付金の詳細はどうまとめるのか。
事務局	・この資料で抜けているものがあれば、追加してもらいたい。様式にはこだわりません。なければこの内容で地域で固めて頂きたいと思います。
委員	・実施事業については、様式を作成する。
事務局	・第3回目には、様式を出します。
事務局	・他に質問とか、言っておきたいことはありますか。 (特になし)
事務局	・2時間20分という長時間となってしまいました。また次回等についても中身の濃い委員会としていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。それでは第2回南砺市山村振興計画策定委員会を閉めさせていただきます。最後に副委員長よろしく申し上げます。
副委員長	・今回はちょっと先が見えたのかなと思います。いろいろな事業がうまくいったらいいのかなと思います。自分も含めて今後がんばっていききたいと思います。本当に皆様方、長い間ご苦勞様でした。
事務局	・どうもありがとうございました。